

Course number		U-LAS30 10001 SJ11					
Course title (and course title in English)	情報基礎演習 [全学向] Practice of Basic Informatics (General)				Instructor's name, job title, and department of affiliation	Institute for Liberal Arts and Sciences Associate Professor,SAKAI HIROYUKI Institute for Liberal Arts and Sciences Program-Specific Senior Lecturer,OKAMOTO MASAKO	
Group	Informatics			Field(Classification)	(Foundations)		
Language of instruction	Japanese			Old group	Group B		Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・First semester	
Days and periods	Mon.4		Target year	All students		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
初心者を対象として、コンピュータを活用するための基礎的な知識と技能を修得する。コンピュータの基本的な操作法、レポート文書やプレゼンテーション資料の作成法、セキュリティと倫理、情報検索の方法、さらにコンピュータを自在に操るために必要となるプログラミングの基礎までを学ぶ。							
[Course objectives]							
・ パーソナルコンピュータのOSとネットワークの利用の基礎的な操作と安全な利用のスキルを得る。 ・ 大学図書館が提供している情報とその利用法を知る。 ・ 学術的な文章をワードプロセッサで作成するために必要な概念と操作技能を得る。 ・ 表計算ソフトを用いてデータ処理を行う基礎的技能を得る。 ・ プレゼンテーションソフトを用いて学術的プレゼンテーションを行う基礎的技能を得る。 ・ コンピュータがプログラムによって動くことについて、実際のプログラミングを通じて体験的に知る。							
[Course schedule and contents)]							
おおよそ以下の内容について学習する予定である。初回はガイダンスも行う。 コンピュータの基礎とネットワークの利用（3週、担当：酒井） ・ OS (オペレーティングシステム) の基本 ・ 情報セキュリティと情報倫理 情報の探索（1週、担当：酒井） ・ 学術情報の流れと併せ、図書館が提供する情報源を中心に、情報探索法の基本を概説する（協力：附属図書館研究開発室教員（北村准教授、西岡助教），附属図書館・吉田南総合図書館職員） コンピュータでのコンテンツ作成（6週、担当：酒井） ・ 文書の整形と構造化 (Word) ・ データ分析の基礎 (Excel) ・ プレゼンテーション資料作成の基礎 (PowerPoint) プログラミングの基礎（4週、担当：岡本） ・ プログラミングの概要 ・ 変数によるモデル化 ・ 制御構造 フィードバック（1週、担当：酒井・岡本）							
Continue to 情報基礎演習 [全学向] (2)							

情報基礎演習 [全学向] (2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

トピックごとに提出を求める課題・レポートで評価する。レポートは授業で学習したポイントを踏まえているかどうか、記述が明解かどうかなどによって評価する。課された課題・レポートについて、評点を合計したものを成績とする。

[Textbooks]

喜多、北村、日置、酒井 『情報基礎演習 2020』（出版はされていません。オンライン版を授業で提供します。）

このほか、授業支援システム PandA での資料配布およびプリントの配布をする。

[References, etc.]

（ References, etc. ）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業時間外の学習として、トピックごとに提出を求めている課題・レポートについて取り組むことを求める。

[Other information (office hours, etc.)]

教室定員を超えた場合、無作為抽選を行う場合がある。

質問は随時メールで受け付ける。

この授業では試験的に NTT コミュニケーションズが実施しているインターネット検定の教材等の活用を考えている。

情報環境機構が提供する情報セキュリティe-Learningを必ず受講し、修了テストを受けた上で、同テストのフィードバックを確認しておくこと。授業内では受講のための時間は設けないので授業時間外に受講しておくこと。同e-Learningは学生も含めた本学の全構成員に対して毎年受講が求められているものである。2回生以上で過去の年度に受講した場合でも今年度まだ受講していないのであれば必ず受講すること。